

特定行為を実践できる認定看護師の育成が始まりました。

※ 2021年度まで行われていた特定行為研修を組み込んでいない認定看護師教育課程の募集は終了いたしました。

認定看護師教育

摂食嚥下障害看護



特定行為研修

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

群馬パース大学看護実践教育センターでは、**専用の講義室や演習室**で
摂食嚥下障害看護分野における以下の知識と技能を身につけます。

- 摂食嚥下機能とその障害の評価
- 摂食嚥下機能の評価結果に基づく適切な援助・訓練方法の選択
- 誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の増悪防止に向けたリスク管理

特定行為とは、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が必要とされる38行為です。

本過程で研修できる特定行為区分	特定行為
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正

Message

「その“ひとくち”をあきらめない看護」

私は、今まで多くの患者さんと出会い「食べたい」という気持ちに応えることができず、摂食嚥下障害看護認定看護師になりました。患者さんの「食べる」ことを支えるためには、全身状態の観察、嚥下障害のアセスメント、食形態の選定、姿勢や環境調整、摂食動作の工夫、栄養改善、リスク管理、家族指導など看護師に求められる役割は多岐にわたっています。また、看護師はチームのキーパーソンとなります。摂食嚥下障害は、原因によって治療もリハビリテーションも異なりますが、いつも近くにいる看護師がその“ひとくち”をあきらめないことが大切です。患者さんの生きる希望を閉ざしてしまうことのないよう、私たちと一緒に看護にこだわってみませんか。



群馬パース大学 看護実践教育センター主任教員 伊藤 順子



教科目及び講義時間数

共通科目 (380 時間)	
臨床病態生理学	40
臨床推論	45
臨床推論 (医療面接)	15
フィジカル・アセスメント：基礎	30
フィジカル・アセスメント：応用	30
臨床薬理学：薬物動態	15
臨床薬理学：薬理作用	15
臨床薬理学：薬物治療・管理	30
疾病・臨床病態概論	40
疾病・臨床病態概論：状況別	15
医療安全学：医療倫理	15
医療安全学：医療安全管理	15
チーム医療論 (特定行為実践)	15
特定行為実践	15
指導	15
相談	15
看護管理	15

専門科目 (247 時間+臨地実習)	
リハビリテーション総論	15
摂食嚥下障害病態論	30
摂食嚥下機能評価論	30
摂食嚥下障害看護技術論	30
リスクマネジメント論	30
摂食嚥下障害援助論Ⅰ	30
摂食嚥下障害援助論Ⅱ	15
摂食嚥下障害援助論Ⅲ	30
摂食嚥下障害援助論Ⅳ	15
認定看護分野 専門科目	22 + 臨地実習
特定行為研修 区別科目*	栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連
演習・実習 (165 時間)	
統合演習	15
臨地実習 (認定看護師)	150

総時間数 (792 時間)	
共通科目	380
専門科目	247 + 臨地実習
演習・実習	165

※特定行為研修共通科目及び特定行為研修区別科目はeラーニングを中心に学修を行います。

納付金 (受講料)

1,200,000 円

所定の受講料納入書により受講手続期間に納入
※実習中の交通費・宿泊費及び資料代等は自己負担となります。
※講義などで使用する教材費、書籍代等は自己負担となります。
※レポートやプレゼンテーション資料の作成等においては、受講者個人のノートパソコンを持参していただきます。

年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開講式 ● 共通科目 (特定行為研修) [eラーニング] ※登校日が数回あります	● 共通科目 (認定看護師)		● 認定看護分野専門科目		● 統合演習 ※登校して受講します		● 臨地実習 (認定看護師)		● 特定行為研修区別科目 [eラーニング] ※登校日が数回あります		修了式 ● 臨地実習 (特定行為研修) 5症例 + 5症例
	● 統合演習 ※登校して受講します		● 臨地実習 (認定看護師)		● 統合演習		● 臨地実習 (特定行為研修) 5症例 + 5症例				